

日本テニス協会

■公認テニス指導員

養成目的 都道府県でテニスの普及発展を図るため、初心者、初級、中級レベルの愛好家やジュニアを対象に基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。

役割 愛好家や発達期の子どもたちに対し、一貫指導プログラムに則り、テニスの基本的な指導にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満18歳以上で下記の条件を満たす者。①テニス指導にあたっている者、またはこれから指導者になろうとする者で、都道府県テニス協会が認めた者。※技術程度レベルは、基礎技術において方向・回転・距

離・スピードのコントロールができる。※免除条件については別途定める。

カリキュラム 共通科目35h（共通Ⅰ）専門科目40h

受講料 共通科目 21,000円 専門科目 14,700円

登録料(4年間) 15,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

担当委員会 日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分		カリキュラム内容		時間数		
				集合	その他	計
1	種目の特性に応じた基礎理論	①	テニスの特性および発育発達と一貫指導	2h	0h	2h
		②	テニスの技術指導法	1.5h	0h	1.5h
		③	テニスのルール	2h	0h	2h
		④	安全管理Ⅰ	1.5h	2h	3.5h
		⑤	テニスのコーチング法Ⅰ（PLAY+STAYを含む）	3h	2h	5h
		計		10h	4h	14h
2	実技・指導実習	①	基礎技術指導法	5h	2h	7h
		②	ゲーム指導法Ⅰ	4h	0h	4h
		③	対象に応じた技術指導法Ⅰ	3h	0h	3h
		④	テニスの体カトレーニング法Ⅰ	3h	0h	3h
		⑤	対象別指導（PLAY+STAYを含む）	5h	2h	7h
		⑥	レッスンプログラムの作成Ⅰ	0h	2h	2h
		計		20h	4h	24h
		30h	10h	40h		

■公認テニス上級指導員

養成目的 地域や都道府県で総合型地域スポーツクラブや協会のテニス教室において、年齢、競技レベルに応じたテニス指導にあたる中心的な役割を担うとともに、企画・立案・実行能力のある指導者を養成する。

役割 一貫指導プログラムに則り、年齢、競技レベルに応じたテニス指導にあたるとともに、地域や都道府県で総合型地域スポーツクラブや協会のテニス教室において中心的な役割にあたる。また、テニス指導員の育成指導にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在、満22歳以上で下記のすべての条件を満たす者。① 公認テニス指導員有資格者。

② 都道府県テニス協会の推薦を受け、日本テニス協会の承認を得た者。③ テニス教室等において中心的な役割を担っ

ている者、またはこれから中心的な役割を担う者。※技術程度レベルは、基礎技術と応用技術において方向・回転・距離・スピードの安定したコントロールができる。※免除条件については別途定める。

カリキュラム 共通科目70h（共通ⅠⅡ）専門科目28h

受講料 共通科目 14,700円（共通Ⅰ免除者は8,400円）専門科目 10,500円

登録料(4年間) 15,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

担当委員会 日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 指導計画の立案、実践、評価（トレーニング期分けを含む）	1.5h	2h	3.5h
	② 対象に応じた指導内容と指導技術	1.5h	2h	3.5h
	③ テニスの科学（テニスの戦術含む）	2h	0h	2h
	④ テニスのコーチング法Ⅱ	1.5h	0h	1.5h
	⑤ 安全管理Ⅱ	1.5h	0h	1.5h
	計	8h	4h	12h
2 実技・指導実習	① 技術の矯正法	1.5h	0h	1.5h
	② ゲーム指導法Ⅱ（応用技術含む）	2h	0h	2h
	③ 対象に応じた技術指導法Ⅱ	2h	2h	4h
	④ テニスの体力トレーニング法Ⅱ	1.5h	0h	1.5h
	⑤ コーチング技術（フィーディングを含む）	2h	0h	2h
	⑥ 多人数の指導（グループ、集団含む）	3h	0h	3h
	⑦ レッスンプログラムの作成Ⅱ	0h	2h	2h
計	12h	4h	16h	
		20h	8h	28h

■公認テニスコーチ

養成目的 競技者育成プログラムに基づき、都道府県、地域レベルでのテニス競技者の発掘・育成・強化にあたる高い指導・実技能力を持った指導者を養成する。

役割 強化指針に基づいた指導にあたるとともに、都道府県、地域レベルでの競技者の強化指導にあたる。また、都道府県テニス協会における競技者指導育成システムの推進活動に参画する。

受講条件 受講年度の4月1日現在満20歳以上で下記の条件を満たす者。①都道府県テニス協会の推薦を受け、日本テニス協会の承認を得た者。※技術程度レベルは、基礎技術と応

用技術において方向・回転・距離・スピードを自由にコントロールし安定したプレーができる。また、戦術と戦略の分析能力がある。※免除条件については別途定める。

カリキュラム 共通科目152.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）専門科目70h

受講料 共通科目 18,900円 専門科目 10,500円

登録料(4年間) 20,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

担当委員会 日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に 応じた基礎理論	① J T A強化指導指針（テニス競技の特性含む）	1.5h	1h	2.5h
	② テニスの技術上達法	1.5h	2h	3.5h
	③ 競技のルールとマナー・モラル	1.5h	0h	1.5h
	④ テニス選手に多いスポーツ障害・内科的疾患の予防、対策・ドーピング	3h	0h	3h
	⑤ コーチング法（含むグループディスカッション）	2h	2h	4h
	⑥ テニスのメンタルスキル	1.5h	2h	3.5h
	⑦ テニスのバイオメカニクス	1.5h	2h	3.5h
	⑧ テニスのコンディショニングⅠ	1.5h	2h	3.5h
	⑨ テニスの戦術理論Ⅰ	1.5h	0h	1.5h
	⑩ テニス指導の責任と管理	1.5h	0h	1.5h
	⑪ コミュニケーション・スキル	3h	0h	3h
	計	20h	11h	31h
2 実技・ 指導実習	① オープンスキルの指導	2h	2h	4h
	② 基本的な技術指導（グラウンドストローク、ネットプレー、サーブ、レシーブ）	4h	2h	6h
	③ ゲーム指導のための応用技術	2h	2h	4h
	④ シングルス・ダブルスの戦術・戦略Ⅰ	2h	2h	4h
	⑤ テニスのフィジカルトレーニング	2h	2h	4h
	⑥ 対象に応じた指導実践Ⅰ	4h	2h	6h
	⑦ レッスンプログラムの作成と実施	4h	2h	6h
	計	20h	14h	34h
		40h	25h	65h

■公認テニス上級コーチ

養成目的 トップアスリートの育成、強化にあたりとともに、都道府県・地域トレーニングセンターのリーダーとなる人物の育成にあたる指導者の養成をする。

役割 国際的な視野で人間的にも優れた資質を持ち、高い指導・実技能力・知識を有する指導者として、トップアスリートの育成・強化にあたる。また、日本テニス協会において強化スタッフの中心的役割として、競技者指導育成システムの推進活動や研究開発に参画する。

受講条件 受講年度の4月1日現在、満22歳以上で下記のすべての条件を満たす者。①テニスコーチ有資格者。②地域テニス協会の推薦を受け、財団法人日本テニス協会の承認を得た者。③テニス教室等において中心的な役割を担っている者。またはこれから中心的な役割を担う者。※技術程度レベルは、基

礎技術と応用技術において方向・回転・距離・スピードの安定したコントロールができる。※一定の条件を満たした場合、テニスコーチ資格をもっていなくても、受講を認める場合もある。※免除条件については別途定める。

カリキュラム 共通科目192.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）専門科目60h

受講料 共通科目46,200円（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ免除者は27,300円）専門科目16,800円

登録料(4年間) 20,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

担当委員会 日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に 応じた基礎理論	① トッププレイヤーのための技術指導	1.5h	2h	3.5h
	② テニスのコンディショニングⅡ（ピリオダイゼーション含む）	3h	2h	5h
	③ テニスの戦術理論Ⅱ	2h	2h	4h
	④ ゲーム分析	1.5h	0h	1.5h
	⑤ 海外トーナメント・テニスの現状	1.5h	2h	3.5h
	⑥ トップアスリートのコーチング（事例研究）	1.5h	2h	3.5h
	⑦ テニスのメンタルトレーニング	2h	2h	4h
	⑧ 技術のバイオメカニクスの分析（評価を含む）	2h	2h	4h
	計	15h	14h	29h
2 実技・ 指導実習	① シングルス・ダブルスの戦術・戦略Ⅱ（ビデオ活用・ゲーム分析を含む）	6h	3h	9h
	② トップアスリートのための練習方法（ドリル含む）	4h	2h	6h
	③ トップアスリートのためのトレーニング・コンディショニング（トーナメント期含む）	4h	2h	6h
	④ 対象に応じた指導実践Ⅱ	4h	2h	6h
	⑤ レッスンプログラムの作成（検定シミュレーション）	2h	2h	4h
	計	20h	11h	31h
		35h	25h	60h

■公認テニス教師

養成目的 民間テニスクラブにおいて、初心者、初級、中級レベルの愛好家やジュニアを対象に、基本的実技指導にあたる指導者を養成する。また、サービス業として顧客に対する応対ができ、社会的適応能力のある人材を育成する。

役割 初心者・初級・中級レベルの愛好家やジュニアに対し、基本的な実技指導にあたり、スクールの指導カリキュラムの作成・実行に参画する。

受講条件 受講年度の4月1日現在満20歳以上で下記の条件を満たす者。①テニスクラブ・スクールにおいてテニスの指導にあたる者、または、これから指導者になろうとする者。

※技術程度レベルは、基礎技術と応用技術において方向・回転・距離・スピードの安定したコントロールができる。
※免除条件については別途定める。

カリキュラム 共通科目 152.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ） 専門科目 140h

受講料 共通科目 56,700円 専門科目 138,000円

登録料(4年間) 20,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

担当委員会 日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に 応じた基礎理論	① テニスの特性、組織（JTA）・一貫指導	1h	0h	1h
	② テニスの指導技術Ⅰ	1.5h	1h	2.5h
	③ テニスのルール	1h	0h	1h
	④ テニスの戦術	1.5h	0h	1.5h
	⑤ 対象に応じた指導Ⅰ（中高年・女性の特性を含む）	2h	2h	4h
	⑥ テニスの科学（発育発達・運動生理学含む）	2h	2h	4h
	⑦ テニスクラブ・スクールのマネジメントⅠ	1.5h	1h	2.5h
	⑧ マーケティング概論	1.5h	0h	1.5h
	⑨ 安全管理Ⅰ（テニスの安全対策含む）	2h	2h	4h
	⑩ ビジネスマナー	1.5h	0h	1.5h
	⑪ イベントの企画運営と管理（トーナメント運営を含む）	1.5h	0h	1.5h
	⑫ 指導計画の立案	2h	1h	3h
	計	19	9	28
2 実技・ 指導実習	① 体力トレーニング・コーディネーション	2h	0h	2h
	② 技術指導	4h	2h	6h
	③ ゲーム指導Ⅰ	2h	2h	4h
	④ フィーディング・デモンストレーション技術Ⅰ	3h	0h	3h
	⑤ グループ指導Ⅰ（一般・ジュニア）	3h	2h	5h
	⑥ 個人指導Ⅰ	2h	2h	4h
	⑦ 対象に応じた指導Ⅰ（PLAY+STAYを含む）	3h	2h	5h
	⑧ 技術の矯正	2h	0h	2h
	⑨ 現場実習	0h	80h	80h
	⑩ 技術評価法（ITN）	0h	1h	1h
	計	21h	91h	112h
	40h	100h	140h	

■公認テニス上級教師

養成目的 民間テニスクラブにおいて、あらゆる対象に対する指導にあたりとともに、スクールの運営・管理、カリキュラム編成、イベント企画に参画できる指導者を養成する。

役割 あらゆる年齢、レベルに対する指導にあたりとともに、スクールの運営・管理、カリキュラム編成、イベント企画・立案に参画する。また、公認テニス教師の育成指導にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満22歳以上で下記のすべての条件を満たす者。① 公認テニス教師有資格者。② テニスクラブにおいて中心的な役割を担っている者。または、こ

れから中心的な役割を担う者。③ テニスクラブオーナーの推薦がある者。※免除なし

カリキュラム 共通科目192.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）専門科目78h

受講料 共通科目113,400円（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ免除者は56,700円）専門科目126,000円

登録料(4年間) 20,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

担当委員会 日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に 応じた基礎理論	① 対象に応じた指導Ⅱ	1.5h	2h	3.5h
	② テニスの指導技術Ⅱ	1.5h	2h	3.5h
	③ 指導計画の立案、実施、評価	2h	2h	4h
	④ 安全管理Ⅱ（レッスン管理を含む）	2h	3h	5h
	⑤ テニスクラブ・スクールのマネージメントⅡ	2h	3h	5h
	⑥ マーケティング・事例研究（スタッフ管理を含む）	3h	4h	7h
	⑦ 人材育成	2h	3h	5h
	⑧ スポーツと環境	1.5h	1h	2.5h
	⑨ スポーツ行政（指定管理者制度を含む）	2.5h	0h	2.5h
	⑩ 経営管理（財務を含む）	2h	2h	4h
	⑪ グループディスカッション	2h	2h	4h
	計	22h	24h	46h
2 実技・ 指導実習	① フィーディング・デモンストレーション技術Ⅱ	2.5h	2h	4.5h
	② グループ指導Ⅱ（少人数、多人数）	3h	3h	6h
	③ 個人指導法Ⅱ	2.5h	2h	4.5h
	④ 対象に応じた指導Ⅱ	3h	3h	6h
	⑤ ゲーム指導Ⅱ	3h	3h	6h
	⑥ 体力トレーニング実技	2h	2h	4h
	⑦ ITN	0h	1h	1h
	計	16h	16h	32h
		38h	40h	78h

《専門科目における講習・試験の免除》

- 日本テニス協会普及員を取得している者は、公認テニス指導員の専門科目40時間の講習と検定のすべてを免除する。
- 指導実績に関する免除規定
(1) デ杯、フェド杯、オリンピックいずれかの監督就任を経験した者は、公認テニスコーチの専門科目70時間の講習と検定のすべてを免除する。
- 専門科目免除適応コースに関する免除について
(1) 旧公認テニスC級教師の免除適応コース修了証明書を取得している者については公認テニス指導員と公認テニス教師の専門科目の講習を免除する。
- 日本テニス協会普及員における検定の免除について
(1) 旧レーティングの4.0を保持している者は、普及員の検定における、「デモンストレーション能力」テストを免除する。
- 競技実績による免除規定
(1) 全日本選手権大会（一般の部）本戦シングルスもしくは本戦ダブルスに出場経験のある者は、公認テニス指導員の専門科目のうち、実技・指導実習講習26時間を免除する。その際、講習料に関する免除は行わない。
- 日本テニス協会S級エリートコーチ資格を保有している者は、公認テニスコーチの専門科目70時間と公認テニス上級コーチの専門科目60時間の講習と検定のすべてを免除する。
- 日本テニス協会「上級指導員飛び級制度」の適用を申請後認められた者は、公認テニス指導員の専門科目の講習と検定のすべてを免除する。